



未来への一步

~Let's create the future together~

第079号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1
TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>
FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

発行日：R6.1.30

冬季休業中の部活動 鉄道研究部

12月28日(木)に、1年生と2年生の5人が引率教員と共に、高松方面(栗林公園、高松城、高松シンボルタワー)に出かけました。竜野駅から岡山駅までは、たくさんの乗客で座ることはできませんでしたが、岡山駅から高松行のグリーンライナーは座ることができ、瀬戸大橋や四国の景色を堪能することができました。栗林公園では、小さな滝を見たり、池の鯉にえさをあげたり、思い思いに写真を撮ったり、スタンプラリーをしました。昼食はおいしい讃岐うどんを食べました。午後からは高松城を見学したり、高松シンボルタワーから景色を眺めたりしました。全員が時間前に集合し、ルールを守って団体行動ができ、無事に終わることができました。

兵庫県教育長 表敬訪問

12月19日(火)に、第23回特別全国障害者スポーツ大会『燃ゆる感動かごしま大会』(10月28日~30日開催)に参加した本校生徒5名が、兵庫県庁に赴き、兵庫県教育長へ表敬訪問を行いました。

特別全国大会へは、卓球3名、ボウリング1名、陸上競技1名がそれぞれ出場し、大会の戦績、メダル獲得報告を行いました。藤原俊平教育長様は、大会中の様子や大会に向けての日々の練習の様子、卒業後の夢などを生徒へ質問されていました。生徒は、緊張しながらもそれぞれの言葉で受け答えをすることができました。1月8日(月)の兵庫ジャーナルに掲載されました。



Café はりま



1月17日(水)、マックスバリュ龍野店で、産学連携事業の「Café はりま」がオープンしました。とても寒い一日でしたが、就業技術科6名の生徒が協力してお店を運営し、お客様にもたくさん来ていただきました。生徒は、学校での練習を思い出し、マニュアルを確認しながら、落ち着いて接客したり、コーヒーをドリップして淹れたりすることができました。また、シフォンケーキやクッキーなどのお菓子もたくさん買っていただき、大きな声で「ありがとうございました!」といい表情でした。「このお店は、どこの学校さんが出しているの?」とか、「このお菓子は、学校で作ったの?」と話しかけてくださるお客様にも、自分たちで答えることができ、「寒い中、大変やね。頑張ってるね。」とあたたかい言葉もかけていただきました。本当にありがとうございました。

今年度の「Café はりま」は、これで終了しますが、来年度も開店する予定です。引き続きよろしく願いいたします。



キャリア教育甲子園 寄宿舎祭

12月14日(木)、兵庫県初の取組みとして「生徒が自立と社会参加に向け、個々の進路希望を実現できるよう、自分の考えや思いを伝える機会」として「キャリア教育甲子園」が開催されました。生徒がパワーポイントを活用し、キャリア教育に関する学習活動を経験して成長したことや自分自身の夢や目標を発表しました。氷上特別支援学校から1名、和田山特別支援学校から2名、本校からはオンラインで3年生2名が参加しました。それぞれ授業で作った【自分自身の進路に向けた経験を通して】と【初めての實習で分かったこと】というプレゼンテーションを「この3つの内容について発表します。」や「理由は2つあります。1つ目は」など、見聞きしている人に思いが伝わるように、工夫しながら発表ができました。緊張していたと思いますが、2人とも本番に強かったです。視聴していた参加者はなんと100人超えでした。本当によく頑張りました。今回の経験は生徒の自信になったと思います。

12月20日(水)に、寄宿舎祭を行いました。食事会では、クリスマス特別メニューを栄養教諭と調理員さんが作ってくださり、おいしくいただきました。今年は、ゲーム・劇・ハンドベル・朗読劇といった出し物を各棟で考えて、発表しました。どの棟も工夫されており、大変盛り上がり楽しい時間を過ごせました。

最後のサンタクロースからのプレゼントには、舎生全員が笑顔になっていました。

